

私たちのヒトモノコト 伊奈町を紹介します

射撃競技で全国制覇 次なる舞台は「世界」

小西 伶奈さん
国際学院高等学校2年生 射撃部

射撃専用の恵まれた環境と指導で技術を向上



国際学院高等学校(以下、国際学院)創立時からある伝統の射撃部。部員の入学の決め手は、国際学院で射撃の腕を鍛え、全国を目指したいという理由がほとんど。でも私の場合は少しだけ異なります。私が国際学院を選んだのは、「英語教育」に特化しているから。射撃部に入学しようと思ったのは、たまたま参加した射撃部体験会がきっかけでした。ピストルを撃たせてもらった瞬間、競技の面白さや難しさを全身で感じたのが印象的だったからです。

国際学院に入学して驚いたのは、とにかく敷地が広くて緑がいっぱいあること。「文武両道」をモットーとし、部活動に力を入れているのも特徴。なかでも、強化指定部である射撃部は、全国大会優勝の常連です。専用の射撃場があり、恵まれた環境で練習ができるのは、とてもありがたいことだと思っています。通学に毎日片道2時間かかりますが、やりたいことができているので、まったく苦には感じていません。



「一発一発、深呼吸をして、気持ちをリセットしてから撃つようにしています」と小西さん。これが、優勝の決め手になったそうです。

愛用の銃



射撃の魅力は「繊細さ」 集中力と精神力の勝負

高等学校ライフル射撃競技大会では圧縮空気弾丸を発射する「エアライフル」、小銃型の「ビームライフル」、拳銃型の「ビームピストル」の3つがあります。どれも10m先の標的を狙って、合計点数を競います。

わずかな誤差で点数が大きく変わるのが射撃の醍醐味であり、面白さ。足の位置や姿勢など、数ミリのズレが点数に反映される繊細な競技です。だからこそ、大切なのは「集中力」と「精神力」。その二つが少しでも欠けたら、ミスにつながります。

私は2年生の7・8月の全国大会で続けて優勝することができました。これからも全国制覇を狙い、その先にある「世界」も目標に日々、射撃の練習と英語の習得に励んでいきたいと思っています。



全国でもトップクラスの活躍を見せる射撃部に所属。2020年度全国高校スポーツ射撃競技大会のエアピストル男女混合の部で見事優勝。射撃界期待の新人として注目されています。

世界で活躍するトップアスリートを目指したい

山形 美由紀さん
小学校6年生 「彩の国プラチナキッズ」



スポーツ能力に優れた子どもたちを発掘し、トップアスリートに育てる「彩の国プラチナキッズ」のメンバー。現在は馬術をはじめ、さまざまなスポーツに挑戦中。将来の目標は「日本代表」です。



プラチナキッズとして トレーニングの日々

小さいころから空手をしていました。跳んだり、走ったりするのも大好きで、運動会の徒競走はいつも1位でした。プラチナキッズの競技体験をきっかけに陸上と馬術を始めました。今、一番得意なのは走幅跳びですが、他にも自分の興味がある競技を体験中で、今後は一つの競技に絞って、力を伸ばしていくこととなります。

プラチナキッズに選ばれてから、いつもの生活が変わりました。母に頼んでタンパク質の多い食事をするようにしたり、毎日、30分の筋トレで体幹を鍛えたりしています。メンバーはレベルが高い人ばかり。そういう人たちと一緒にスポーツができることはとても貴重だし、自分の意識も変わったように思います。

キラキラ Town 伊奈



友だちと遊び、運動に励んだ 公園は大切な場所

こうしてプラチナキッズに参加できたのも、小さいころから公園で体を動かしていたことが影響している気がします。近くにいっぱい公園があるので、遊ぶのも運動するのも、すべて公園。思い切り体を動かせる場所があるのは、私だけじゃなく、みんなにとっても嬉しいことだと思います。

それから、伊奈町はスポーツに強い学校が多いので選択肢が広がるのもいいところだと思います。今は、自分がどのスポーツにするかを決めるのが先決。方向性が定まったら、そのスポーツに強い学校に進んで、さらに腕を磨きたいと思っています。

今の私の目標は「日本代表」です。だから、これから伊奈町を出てしまうかもしれませんが、友だちと一緒に楽しい時間を過ごし、トレーニングに励んだこの町は、いつまでも私の大切な場所です。



馬術だけでなく、フェンシングや水泳、射撃など5種類の競技に挑戦する「近代五種」も視野に入れているという山形さん。これからの活躍が楽しみです。

